

◇ ◇ 電子情報通信学会創立 100 周年記念事業 ◇ ◇
——記念懸賞論文募集のお知らせ——

編集連絡会

本会は、平成 29 年 5 月 1 日に創立 100 周年を迎えます。編集連絡会では、創立 100 周年記念事業の一環として、ソサイエティごとにテーマ・内容を設定して、記念懸賞論文の募集を行います。最優秀論文並びに優秀論文は、平成 29 年 12 月号会誌（紙版、オンライン版）に掲載されます。

皆様の独創的かつ意欲的な論文をお待ちしておりますので、奮って御応募下さい。

【テーマ・内容】

●基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ

「新領域の創造と新たな飛躍を目指して」

現在社会を支える重要な技術や装置の多くは、数十年前には、漫画や SF 小説における夢物語でしかありませんでした。しかし、失敗を恐れない地道な基礎研究や境界領域研究により、その夢物語は実現の足掛かりを得て、実用化されてきました。社会の今後の更なる発展を目指すためには、20 年 50 年あるいは 100 年後の電子情報通信技術において必要となる「新しい研究領域」や「新たな飛躍」などの「夢」を持つことが重要となります。今後、基礎・境界分野の研究者が取り組むべき「夢」について、自由闊達に語って下さい。

●通信ソサイエティ

「私と未来をつなぐ通信技術」

通信技術は、電話網のように通話というサービスを提供するためのインフラに始まり、今日では人と人をつなぐだけでなく、‘もの’ と ‘もの’ をもつないで新たなサービスを生み出すためになくてはならない中核技術へと進化しています。通信技術の発展は我々をどのような未来へつないでくれるでしょうか。私たちを取り巻く環境、エネルギー、自然災害、社会福祉などあらゆる側面から、通信技術とそれが切り開く未来、そして私たちの生活にもたらす恩恵について、次の 100 年を展望した論文を募集致します。

●エレクトロニクスソサイエティ

「自然と調和する 100 年先の情報通信とエレクトロニクス」

本会は、人のあらゆる活動が ICT ベースのコミュニケーション基盤で支えられ、永続的な進化を遂げる社会をあるべき未来像として描いています。その中で重要なのは天然資源の保全や環境汚染の回復などを通して地球環境を守りつつ、天災・人災等の被害を最小化する、自然と調和した持続可能社会の実現です。数十年後の近未来までの実現に向けて、目下以下に示す事項の挑戦が進められていますが、これらの更に先に待っている社会の未来像と、それを支える技術を自由に描いて下さい。

- ・自然エネルギー利用発電と新エネルギー源開拓、地球規模環境観測と災害予測
- ・地球規模の自然現象シミュレーション
- ・ユビキタス地震モニタリングネットワーク
- ・地上一月間／惑星間通信など

●情報・システムソサイエティ

「人・社会・自然を豊かにする情報システムの未来展望」

情報システムの進歩により、かつてアニメや映画の世界で登場した様々な技術が実現されてきました。その一方で高度化した社会は、新たな問題に直面しているのも事実です。そこで今世紀という時間規模で、人類の繁栄、更には、人類のみならずこの地球全体の共存の実現に必要な情報システム、または、情報システムを実現する我々研究者・技術者に求められる思想・理念などについて、自由にお書き下さい。研究者・技術者（を目指している者）ならではのメッセージを期待しています。

【賞及び賞金】

各テーマ 最優秀賞 1 件（10 万円）、優秀賞 3 件（各 5 万円）

【応募資格】

国籍及び本会会員、非会員については問いません。

【応募規程】

(1) 日本語または英語で執筆して下さい。

- (2) 一人一論文とし、ソサイエティを明記して下さい。連名は不可とします。
- (3) 自作・未発表で第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限り、本会著作権規程に違反していることが判明した場合には、審査結果発表後であっても、受賞の取消と賞金の返還を求めます。
本会著作権規程 <http://www.ieice.org/jpn/copyright/houshin.html>
- (4) 万が一、本記念懸賞論文の応募作品に対し、第三者から権利侵害、損害賠償等の苦情、異議申立があった場合は、電子情報通信学会は一切の責任を負わず、応募者が費用負担も含めて対処するものとします。
- (5) 最優秀論文並びに優秀論文の掲載にあたっては、会誌掲載記事としての体裁に整え、既定の用字・用語を用いて編集致します。また、編集作業に必要な本文・図表等のデータを依頼する場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。会誌掲載前に著者校正があります。
- (6) 受賞論文の著作権は一般社団法人電子情報通信学会に帰属します。
- (7) 応募論文は返却致しません。
- (8) 各ソサイエティ宛て電子メールにてお送り下さい。なお、応募及び審査の状況、受賞に関するお問合せには回答しかねます。

【応募方法】

- (1) 執筆文字数は以下のとおりです。
 - ・和文の場合は、11,000 文字（図、表、文献、著者紹介含む）以内。
 - ・英文の場合は、3,000 words（図、表、文献、著者紹介含む）以内。原稿の1ページ目は表紙とし、タイトル、氏名（ふりがな付き）、会員種別、住所（連絡先）、電話番号、メールアドレス、学校（学部、専攻、学年）名、または、勤務先（部、課）名、及び所在地、所属学会があれば学会名を明記して下さい。
- (2) 懸賞記念論文用 WORD ファイルを参考にして作成、PDF ファイルに変換の上、添付ファイルにて送信して下さい。
記念懸賞論文用 WORD ファイル http://www.ieice.org/eng/s_issue/cfp/template_100.doc
御参考までに、創立 75 周年記念論文が下記サイトで御覧になれます。
http://www.ieice.org/eng/s_issue/cfp/articles_75.pdf
- (3) メールを表題を「創立 100 周年記念懸賞論文募集（応募ソサイエティ名）」として下さい。
- (4) 他の文献からの引用箇所には、参考文献の番号を明記し、本文の巻末に参考文献の一覧表を付記して下さい。

【個人情報の取扱い】

- (1) 論文募集に係る個人情報については、論文の審査、発表、表彰、応募状況の集計、公表（会誌、ホームページ等での掲載）以外の目的で使用することはありません。
- (2) 発表の際には、受賞者の氏名を公表致します。

【応募受付開始】

平成 28 年 8 月 1 日

【応募締切】

平成 28 年 12 月末日

【問合せ・応募宛先】

基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ memorialpaper_a@ieice.org
通信ソサイエティ memorialpaper_b@ieice.org
エレクトロニクスソサイエティ memorialpaper_c@ieice.org
情報・システムソサイエティ memorialpaper_d@ieice.org

【審査決定】

論文の選考は、各ソサイエティ記念論文選考委員会が候補論文の審査を行った上で、編集連絡会において決定致します。

以上

電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成 28 年 11 月 3 日～11 月 30 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
回路とシステム (CAS)	24 日(木)	10 : 00～18 : 05	神戸情報大学院大学
システム数理と応用 (MSS)	25 日(金)	9 : 00～14 : 35	
信頼性 (R)	17 日(木)	14 : 00～16 : 20	大阪中央電気倶楽部
超音波 (US)	7 日(月)	10 : 30～17 : 40	静岡大学・浜松キャンパス
応用音響 (EA)	17 日(木)	13 : 30～17 : 05	コンパルホール (大分)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)	18 日(金)	9 : 15～16 : 00	
VLSI 設計技術 (VLD)	28 日(月)	10 : 30～17 : 40	立命館大学・大阪いばらきキャンパス
電子部品・材料 (CPM)		9 : 00～17 : 45	
集積回路 (ICD)		9 : 00～15 : 00	
画像工学 (IE)			
コンピュータシステム (CPSY)	29 日(火)	9 : 00～17 : 45	立命館大学・大阪いばらきキャンパス
ディペンダブルコンピューティング (DC)	30 日(水)	9 : 00～15 : 00	
リコンフィギャラブルシステム (RECONF)			
情報セキュリティ (ISEC)	7 日(月)	13 : 00～17 : 40	福井市地域交流プラザ AOSSA
技術と社会・倫理 (SITE)	8 日(火)	10 : 00～16 : 15	
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)			
複雑コミュニケーションサイエンス (CCS)	4 日(金)	10 : 00～17 : 10	京都産業大学・むすびわざ館
	5 日(土)	10 : 00～12 : 45	

11 月休会の研究会；情報理論 (IT), 非線形問題 (NLP), 信号処理 (SIP), ワイドバンドシステム (WBS), 思考と言語 (TL), 安全性 (SSS), ITS (ITS), スマートインフォメディアシステム (SIS), イメージ・メディア・クオリティ (IMQ), 高信頼制御通信 (RCC), バイオメトリクス (BioX), 安全・安心な生活と ICT (ICTSSL)

◎通信ソサイエティ

(通信ソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、一部の研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくはトライアルのページ http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時		会 場
アンテナ・伝播 (A・P)	24 日(木)	10 : 20～18 : 00	京都市国際交流会館
無線通信システム (RCS)	25 日(金)	10 : 00～16 : 30	
宇宙・航行エレクトロニクス (SANE)	24 日(木)	9 : 00～17 : 50	National Taipei University of Technology
	25 日(金)	9 : 00～12 : 00	
環境電磁工学 (EMCJ)	24 日(木)	9 : 00～16 : 45	機械振興会館
無線電力伝送 (WPT)			
環境電磁工学 (EMCJ)	25 日(金)	10 : 00～16 : 55	機械振興会館
ネットワークシステム (NS)	24 日(木)	9 : 45～17 : 50	下関商工会館
コミュニケーションクオリティ (CQ)		9 : 30～16 : 40	
情報通信マネジメント (ICM)	25 日(金)		
情報ネットワーク (IN)	17 日(木)	9 : 00～16 : 50	霧島観光ホテル
モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA)	18 日(金)	9 : 00～15 : 05	
クラウドネットワークロボット (CNR)			
通信方式 (CS)	10 日(木)	9 : 30～11 : 45	KKR はこだて
	11 日(金)	10 : 00～11 : 40	

電子通信エネルギー技術 (EE)	28日(月) 29日(火)	10:30~16:50 10:30~16:10	機械振興会館
光通信システム (OCS) 光ファイバ応用技術 (OFT)	10日(木) 11日(金)	14:00~18:15 9:30~14:25	長崎商工会議所
フォトニックネットワーク (PN)	17日(木) 18日(金)	10:30~18:00 10:00~15:25	KDDI 研究所
インターネットアーキテクチャ (IA)	3日(木) 4日(金)	13:00~17:50 9:00~16:25	National Taiwan University of Science and Technology
インターネットアーキテクチャ (IA)	9日(水) 10日(木)	未定	大沼国際セミナーハウス
知的環境とセンサネットワーク (ASN)	17日(木) 18日(金)	9:30~16:30 9:10~16:30	名古屋大学・東山キャンパス・環境総合館
ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT)	4日(金) 5日(土)	13:00~16:10 9:00~12:15	大阪国際交流センター
11月休会の研究会;衛星通信 (SAT), スマート無線 (SR), 短距離無線通信 (SRW)			

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場
機構デバイス (EMD)	3日(木) 4日(金)	13:00~16:40 9:30~12:45	淡路夢舞台国際会議場
電子ディスプレイ (EID)	16日(水)	13:00~17:10	日本科学未来館
電子部品・材料 (CPM)	18日(金) 19日(土)	13:30~17:00 10:00~12:35	金沢工業大学・扇が丘キャンパス
電子部品・材料 (CPM) 集積回路 (ICD) VLSI設計技術 (VLD) 画像工学 (IE) コンピュータシステム (CPSY) ディベンドブルコンピューティング (DC) リコンフィギャラブルシステム (RECONF)	28日(月) 29日(火) 30日(水)	10:30~17:40 9:00~17:45 9:00~15:00	立命館大学・大阪いばらきキャンパス
電磁界理論 (EMT)	17日(木) 18日(金) 19日(土)	11:00~17:00 10:00~16:00 9:30~10:45	白浜古賀の井リゾート&スパ
シリコン材料・デバイス (SDM)	10日(木) 11日(金)	10:00~16:40 10:00~16:30	機械振興会館
マイクロ波 (MW)	17日(木) 18日(金)	10:30~16:50 10:30~14:15	佐賀大学
有機エレクトロニクス (OME) 光エレクトロニクス (OPE)	24日(木)	14:55~17:30	東北大学・片平キャンパス
マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)	14日(月)	10:00~17:00	機械振興会館
11月休会の研究会;磁気記録・情報ストレージ (MR), 超伝導エレクトロニクス (SCE), 電子デバイス (ED), レーザ・量子エレクトロニクス (LQE), エレクトロニクスシミュレーション (EST)			

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場
MEとバイオサイバネティクス (MBE) ニューロコンピューティング (NC)	18日(金) 19日(土)	13:30~17:40 9:35~15:50	東北大学・片平キャンパス・電気通信研究所
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS) 情報セキュリティ (ISEC) 技術と社会・倫理 (SITE)	7日(月) 8日(火)	13:00~17:40 10:00~16:15	福井市地域交流プラザ AOSSA

画 像 工 学 (IE) コンピュータシステム (CPSY) ディペンダブルコンピューティング (DC) リコンフィギャラブルシステム (RECONF) V L S I 設 計 技 術 (VLD) 電 子 部 品 ・ 材 料 (CPM) 集 積 回 路 (ICD)	28日(月) 29日(火) 30日(水)	10:30~17:40 9:00~17:45 9:00~15:00	立命館大学・大阪いばらきキャンパス
知能ソフトウェア工学 (KBSE)	3日(木) 4日(金)	13:30~16:45 9:15~11:40	信州大学・工学部・長野(工学)キャンパス
教 育 工 学 (ET)	18日(金)	9:30~16:45	ブラザヴェルデ
医 用 画 像 (MI)	14日(月)	9:00~16:00	鳥取大学・工学部・鳥取キャンパス
情報通信システムセキュリティ (ICSS)	25日(金)	13:00~17:00	情報セキュリティ大学院大学
情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)	16日(水) 17日(木)	15:00~18:00 14:00~20:00	京都大学・吉田キャンパス
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM) 応 用 音 響 (EA)	17日(木) 18日(金)	13:30~17:05 9:15~16:00	コンパルホール(大分)
クラウドネットワークロボット (CNR) 情 報 ネットワーク (IN) モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA)	17日(木) 18日(金)	9:00~16:50 9:00~15:05	霧島観光ホテル
サービスコンピューティング (SC)	4日(金)	10:30~17:00	神戸大学・瀧川記念学術交流会館
今後の予定; パターン認識・メディア理解 (PRMU)			
11月休会の研究会; 言語理解とコミュニケーション (NLC), コンピューテーション (COMP), 人工知能と知識処理 (AI), ソフトウェアサイエンス (SS), データ工学 (DE), パターン認識・メディア理解 (PRMU), 音声 (SP), ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM)			

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

11月休会の研究会; ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS), ヒューマン情報処理 (HIP), マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE), 福祉情報工学 (WIT)
--

◇第二種研究会開催案内

ECOC 報告会	11月18日(金)	機械振興会館
光応用電磁界計測研究会 (PEM)	11月24日(木)	機械振興会館
第5回集積光デバイスと応用技術研究会	11月24日(木), 25日(金)	東北大学・片平キャンパス
第36回ポリマー光部品 (POC) 研究会	11月30日(水)	産業技術総合研究所・関西センタ
第30回光通信システムシンポジウム	12月20日(火), 21日(水)	東レ総合研修センター

◇第二種研究会発表募集案内

第3回コミュニケーションクオリティ (CQ) 基礎講座ワークショップ	1月21日(土)	大阪大学・中之島センター
第12回ネットワークソフトウェア研究会	1月26日(木), 27日(金)	KKR かごしま敬天閣
第30回 回路とシステムワークショップ	5月11日(木), 12日(金)	北九州国際会議場

● 受賞候補者募集等 ●

——論文賞候補論文推薦について——

***** Nomination guidelines for the 2016 Best Paper Award of IEICE *****

平成 28 年度論文賞候補論文の推薦を求めます。論文賞候補論文の選定は各ソサイエティごとに行います。下記選定条件及び関係規程を御参照の上、御推薦されることを希望致します。

論文賞候補の推薦にあたっては、推薦する論文の掲載年月に特に御注意下さい。

論文賞選定条件及び規程

1. 選定範囲及び推薦数
平成 27 年 10 月から平成 28 年 9 月までの間に、本会論文誌に発表された論文のうちから 1 編。ただし、推薦する論文は、所属ソサイエティに対応する論文誌から選定すること。
2. 推薦用紙
所属ソサイエティの推薦用紙を切り取り、所定の事項をもれなく記入して本会総務課宛て郵送のこと。
3. 推薦資格及び推薦件数
本会ソサイエティ正員 1 名につき 1 編
4. 推薦締切期日
平成 28 年 12 月 1 日（木）
5. 選奨規程 右記参照

第 4 章 論文賞

- 第 11 条 論文賞は、本会規則第 48 条による表彰で本会論文誌に発表された論文のうち、特に優秀なものを選び、その著者に贈呈する。
- 第 12 条 表彰する論文は、各ソサイエティに対応する論文誌に掲載された論文からソサイエティごとに毎年各 3 編、計 12 編とする。なお、編数は事情により変更することができる。
- 第 13 条 選定の対象となる論文は、表彰の時期の前々年の 10 月から前年の 9 月までの間に発表されたものであることを要する。
- 第 14 条 表彰する論文が共著の場合は、著者全員を表彰する。
- 第 15 条 論文賞は、同一著者に重ねて授賞しても差し支えない。

1. A member can nominate one best paper in IEICE Transactions of the society, which the member belongs to.
2. The paper must be published from October 2015 to September 2016.
3. The nomination deadline is December 1, 2016.

(以降の推薦用紙を御利用の上、御推薦下さい)

..... 切 取 線

A

基礎・境界ソサイエティ 平成 28 年度論文賞候補論文推薦用紙
Engineering Sciences Society Nomination of the 2016 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title			
著 者 名 Author(s)			
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成	年	月号
	(A	・	EA)
推 薦 理 由 Reason for nomination		
推 薦 者 Nominator	氏 名 Name	(会員番号： Membership Number)	
	勤務先・所属名		
基礎・境界 ソサイエティ正員	所在地 〒	☎	- -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、基礎・境界ソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部
Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

C

エレクトロニクスソサイエティ 平成 28 年度論文賞候補論文推薦用紙
 Electronics Society Nomination of the 2016 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title			
著 者 名 Author(s)			
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成	年	月号
	(C	・	EC)
推 薦 理 由 Reason for nomination	-----		

推 薦 者 Nominator	氏 名	(会員番号：)	
	Name	Membership Number	
	勤務先・所属名		
エレクトロニクス ソサイエティ正員	所在地 〒	☎	- -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、エレクトロニクスソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。
 論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部
 Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
 Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

切 取 線

D

情報・システムソサイエティ 平成 28 年度論文賞候補論文推薦用紙
 Information and Systems Society Nomination of the 2016 Best Paper Award of IEICE

論 文 名 Title			
著 者 名 Author(s)			
掲 載 年 月 号 (論文誌○で囲む) Published date	平成	年	月号
	(D	・	ED)
推 薦 理 由 Reason for nomination	-----		

推 薦 者 Nominator	氏 名	(会員番号：)	
	Name	Membership Number	
	勤務先・所属名		
情報・システム ソサイエティ正員	所在地 〒	☎	- -

※推薦理由を記載して下さい。推薦可能件数は、情報・システムソサイエティ正員 1 名につき 1 編です。
 論文賞候補の推薦は本用紙に限ります (コピーしたものは受け付けません)。
 また、本学会 HP (<http://www.ieice.org/ronbunsuisen/d/>) から推薦登録頂くことも可能です。

提出先 〒 105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会総務部
 Mail to : The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers
 Kikai-Shinko-Kaikan Bldg., 3-5-8, Shibakoen, Minato-ku, Tokyo, 105-0011 JAPAN

——平成 28 年度エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 候補論文推薦について——

エレクトロニクスソサイエティ論文賞選定委員会
委員長 松尾慎治

エレクトロニクスソサイエティでは平成 22 年度より、本部論文賞とは別に、エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞（以下招待論文賞と略記）を新設致しております。エレクトロニクスソサイエティ正員の皆様には積極的な推薦をお願い致します。招待論文賞は和文論文誌 C に掲載された招待論文、解説論文、及び英文論文誌 C に掲載された招待論文を対象とし、特に優秀な論文 1 編を選び、その著者に贈呈します。

招待論文賞候補の推薦にあたっては、下記の事項に御注意下さい。

1. 選定範囲及び推薦数
選定範囲は平成 27 年 10 月から平成 28 年 9 月までで、その間に和文論文誌 C に掲載された招待論文、解説論文、及び英文論文誌 C に掲載された招待論文のうちから 1 編を選定し、推薦すること。
2. 推薦用紙
下記の推薦用紙を切り取り、所定の事項をもれなく記入して学会事務局（〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課）宛て郵送のこと。
3. 推薦資格及び推薦数
エレクトロニクスソサイエティ正員 1 名につき 1 編
4. 推薦締切期日
平成 28 年 12 月 1 日（木）必着
5. 選奨規程
<http://www.ieice.org/es/jpn/secretariat/kitei2.php> 参照

..... 切 取 線

エレクトロニクスソサイエティ招待論文賞 平成 28 年度候補論文推薦用紙

論文種別	招待論文・解説論文（いずれか一つに○印をつける）
論文名	
著者名	
掲載年月号 (論文誌○で囲む)	平成 年 月号 (C ・ EC)
推薦理由	
推薦者	氏名 (会員番号：)
	勤務先・所属名
エレクトロニクスソサイエティ正員	所在地 〒 ☎ - -

- ・推薦理由を記載して下さい。
- ・論文賞候補の推薦は本用紙に限ります（コピーしたものは受け付けません）。

77 / f V ~ ' 4 * a t m M o 7 7

. / PN DBUPO HVJEFMOFT QPSUIF 0 1 46 & . "546 : BTVIBS/ "XBSE PG* & &
& OHMTI TUF IUQ XX & . FJDF . PSH FOH BCPVU@FJDF TVFN BUIV@ZBTVIBS/@XBSE . IUM

R SH sg ~ q c R D EtSMo | / f V ~ U ^ ' h } ~ x | ? CE æ p | ¶ [| U [|
" j = s r t S M o t f ¶ s 0 Y U | w 2 ~ C 2 U 8 4 ^ Z | U [~ z H t \$) ^ w p b }
q Y » T w R S / f V ~ ' 4 w * a { b } < G * a E t | F w " | u ^ \$ s * a S & M ' b }
/ f V ~ ' 4 w * a t K h l o x | * a ' 4 w \ D t t « < ^ M }

* a E t | F

} ' 4 c * a f

K * a ^ h w D t S M o @ w \ 4 Q o M s M \ q

K a t ~ ! ~ ' h \ q U s M \ q

} * a

q Y » ' c s X q ' x ' 4 q ; t t f

a x s M

} * a M O

* a { t | w j ' Z z ~ z ` z | o R D c « „ f i f p t # 0 b \ q

} t | * a { 7 s

* a { 7 x < G ... c 0 - ' o < ^ M }

IUQ XX & . FJDF . PSH IQO TVFN BUIVTIP

} < F < G

IUQ XX & . FJDF . PSH IQO BCPVU LJFU TFOTIPVLJIEJQEG

& OHMTI IUQ XX & . FJDF . PSH FOH BCPVU@FJDF QSPWJITPOT@QPS@DPN N FOEBUIPOTQEG

" * a { a 0 ' <

< ; q ' O ? CE ¶ q z

. BMUP 5 IF *OTUIVUF PG&MFDUSPOJIT+ *OGPSN BUPO BOE \$ PN N VOJDBUPO &OHJDFST , LBJ 4I.DLP , BLBO #MEI+ &+. JDBUP LW+5 PLZQ+
+" 1" /

◇ ◇ 日本技術者教育認定機構 (JABEE) 審査講習会・受審校向け講習会 ◇ ◇

電気学会・電子情報通信学会・情報処理学会主催

- 日時 2016年12月3日(土) 審査講習 10:00~16:55, 受審校向け講習 17:00~18:30
 10:00~16:55の審査講習を受講頂くと、JABEE審査のオブザーバ資格が得られます。
- 場所 電気学会会議室(東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZON 8F)
- 募集人員 50名(先着順)
- 交通手段 <http://iee.jp/wp-content/uploads/honbu/31-doc-honb/map.pdf> を御参照下さい。
- 講習費用 [会員] 10,000円(不課税) [会員外] 15,000円(消費税含む)
 ※[会員]には電気学会事業維持会員、及び、電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、照明学会、映像情報メディア学会、日本技術士会いずれかの個人会員を含みます。
 ※費用は当日現金にてお支払下さい。
 ※審査講習のみ、あるいは受審校向け講習のみの受講の場合でも費用は変わりません。
- 申込方法 E-mailにて受け付けます。jabee-office@iee.or.jp まで、件名を「2016年度JABEE審査講習会申込」とし、以下の各項を記載の上お送り下さい。
- ・所属機関名
 - ・部署名
 - ・役職
 - ・氏名(ふりがな)
 - ・所属学協会名(注. 入会している学協会名は全て記載下さい)
 - ・電子メールアドレス
 - ・電話番号
 - ・審査員養成講習会への参加経験(参加した年)
 - ・質問事項があれば記載のこと
- 申込期限 2016年11月25日(金)
 ※申込み人数が定員に達した場合、期日前であっても締め切る場合がございます。
- 問合せ先 一般社団法人電気学会総務課(担当:山梨・佐藤)
 TEL [03] 3221-3710, FAX [03] 3221-3704 E-mail: jabee-office@iee.or.jp
- 講習内容 9:30~10:00 受付(登録・資料確認)
 10:00~10:10 本講習会の位置付けと講習会後の資格=講師:佐藤之彦
 10:10~10:45 認定制度の考え方と基本方針=講師:佐藤之彦
 10:45~11:30 認定基準の解説=講師:牧野光則
 11:30~12:15 認定・審査の手順と方法=講師:長尾雅行
 12:15~13:00 昼食・休憩
 13:00~13:45 自己点検書=講師:佐渡一広
 13:45~14:30 プログラム点検書・審査報告書=講師:古関隆章
 14:30~15:15 審査の手引き(前半)=講師:甲斐宗徳
 15:15~15:25 休憩
 15:25~15:55 審査の手引き(後半)=講師:小西博雄
 15:55~16:10 審査チームの構成と倫理規定=講師:小西博雄
 16:10~16:55 認定・審査に関する質疑応答=司会:相知政司
 16:55~17:00 休憩
 17:00~17:45 受審に関する留意点=講師:藤田英明
 17:45~18:30 受審に関する質疑応答=司会:相知政司
 18:30 解散
 注)都合によりスケジュールが変更となる場合がありますので御了承下さい。

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●東京電機大学

公募人員 工学部電気電子工学科准教授または教授 1名

専門分野 電力・電気機器分野

応募資格 博士の学位を有し、電力・電気機器分野において学部及び大学院博士前期・後期課程の研究指導ができ、教育・研究に十分な経験と情熱を持ち、協同して学科運営にあたって頂ける方

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 11 月 23 日(水)必着(12 月 3 日面接予定日)

問合先 学科長 植野彰規, koubo@eee.dendai.ac.jp

詳細 <http://web.dendai.ac.jp/saiyo/>

●東京電機大学

公募人員 工学部電気電子工学科助教 1名

専門分野 電力・電気機器または電子デバイス分野

応募資格 博士の学位を有し、電力・電気機器分野あるいは電子デバイス分野において、教育・研究に情熱を持ち、学部及び大学院における教育と研究指導補助を行うことができること

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 12 月 6 日(火)必着(12 月 17 日面接予定日)

問合先 学科長 植野彰規, koubo@eee.dendai.ac.jp

詳細 <http://web.dendai.ac.jp/saiyo/>

●福岡工業大学

公募人員 准教授または助教 1名

所 属 情報工学部情報工学科

専門分野 情報工学(離散構造)または関連分野

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 11 月 25 日(金)必着

問合先 情報工学科長 前田道治

TEL [092] 606-4905, maeda@fit.ac.jp

詳細 http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/kyoin_kobo/index

●九州大学

公募人員 教授 1名

専門分野 Mathematical Aspects of Information Sciences

応募締切 平成 28 年 11 月 30 日(水)必着

問合先 〒819-0395 福岡市西区元岡 744

九州大学マス・フォア・インダストリ研究所

溝口佳寛, ym@imi.kyushu-u.ac.jp

詳細 Web ページ

<http://www.imi.kyushu-u.ac.jp/recruits>

内の該当公募案内を参照下さい

●富山大学

公募人員 講師 1名

専門分野 移動体通信アンテナシステム(スマートアンテナ・多重波伝搬・生体電磁影響評価等)に関する実験的応用研究を主体とし、MIMO アンテナ・RF 信号処理・Over-The-Air 計測等に関する業績を有する方

着任時期 平成 29 年 2 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 28 年 12 月 9 日(金)必着

問合先 電気電子システム工学科学科長, 教授 伊藤弘昭

TEL [076] 445-6718, hiroaki@eng.u-toyama.ac.jp

詳細 <https://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

●富山大学

公募人員 大学院理工学研究部(工学) 助教 1名

専門分野 有機デバイス分野

応募資格 着任時までに、博士または Ph.D. の学位を有し、大学院における教育・実験指導が担当できること

任 期 5 年

着任時期 平成 29 年 1 月 1 日以降のできるだけ早い時期

応募締切 平成 28 年 12 月 16 日(金)必着

問合先 工学部電気電子システム工学科 伊藤弘昭

TEL [076] 445-6718, hiroaki@eng.u-toyama.ac.jp

詳細 <https://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 1 月号掲載分 平成 28 年 11 月 18 日(金)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——情報・システムサイエティ英文論文誌の
オープンアクセス化について——

電子情報通信学会は、来る平成29年5月1日をもって創立100周年を迎えます。この100年間、電子情報通信分野の学問・技術は大きな変貌をとげました。特にインターネットが誕生してからは、学問・技術のボーダーレス化が急速に進むと共に、学会のグローバル化が必要不可欠なものとなってきています。創立100周年を迎える電子情報通信学会では、これまでの領域にとらわれず、広く人文科学、社会科学等とも連携・協働し、新たな社会価値創造の推進、更には国際的な認知度向上による会員数の増加を目指した大きな制度改革に取り組んでおります。その一環と致しまして、電子情報通信学会では英文論文誌のオープンアクセス化の検討を行っています。オープン化を実施することにより、英文論文誌に採録された論文は、全世界から無料でアクセスすることが可能となります。このことから英文論文誌サーキュレーションの飛躍的な拡大と質的な向上、ひいては人文科学や社会科学等の幅広い分野との連携・協業、そして新たな社会的価値創造へとつながることが期待されます。更に、国際的認知度の向上によるコミュニティ拡大が、本会活動発展の起爆剤となることを狙っています。このためのステップとして、先行して検討を進めてきた情報・システムサイエティにおいて2017年1月から英文論文誌のオープン化*を開始し、財務的な影響を含め有効性を検証してゆくこととします。

*J-Stageのプラットフォームを通じてオープンアクセス化致します。

——「子供の科学教室基金」の募金活動について——

本会では10数年間にわたり、会員の先生方にボランティアで講師となって頂き、先端の科学について分かりやすく話して頂く会を企画し、小・中・高校生を対象に同科学教室を開催して参りました。毎回書いて頂くアンケートでも非常によい感想を頂いております。

この青少年の啓発活動を定着させていくために、平成14年度からこの活動が本来、御賛同の方の御支援により実施すべきものと考え、理事会の承認を得て、会費請求時に個別会員、維持員の皆様から「子供の科学教室基金」として御寄付を募ることに致しました。御寄付は基金に繰り入れ、用途を明確にして有効活用させて頂いております。会員の皆様に御賛同を頂くとともに、御協力をお願い申し上げます。

募金額は1口1,000円とさせて頂いておりますが、口数に制限はありません。なお、募金用の振込用紙は、11月末ごろ、会員の皆様にお送り致します平成29年度会費の振込用紙に同封させて頂きますので、何とぞ御協力下さいませようお願い申し上げます。

——平成28年11月号及び12月号
和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

- (基礎・境界サイエティ)
- 11月号 [英文] Smart Multimedia & Communication Systems
 - 12月号 [和文] バイオメトリクス
 - 12月号 [英文]-Information Theory and Its Applications
-VLSI Design and CAD Algorithms
- (通信サイエティ)
- 11月号 [英文] Deepening and Expanding of Information Network Science
 - 12月号 [英文] Information Centric Networking: Paradigms, Technologies, and Applications
- (エレクトロニクスサイエティ)
- 11月号 [和文] 次世代モビリティ機器を牽引する高機能・高密度実装技術
 - 11月号 [英文] Electronic Displays
 - 12月号 [和文] 大学発マイクロ波論文
- (情報・システムサイエティ)
- 12月号 [英文] Parallel and Distributed Computing and Networking

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

◇関西支部

- IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「アルゴリズムから学ぶ暗号技術」
期 日 平成28年12月9日(金)
会 場 中央電気倶楽部317号室(大阪市)
URL <http://www.ieice.org/kansai/ict/>

◇本会・サイエティ・グループ・研究専門委員会等
主催・共催

- HCG シンポジウム2016—膨張するヒューマンコミュニケーション—
期 日 平成28年12月7日(水)～9日(金)
会 場 高知市文化プラザかるぼーと(高知市)
URL <http://2016.hcg-symposium.org/>

会誌 電子配信トライアル募集中—更に使いやすくなりました！—

会誌記事が iPhone iPad 等に加えて Android 端末でも御覧になれるようになりました。この機会にぜひトライアルに御参加下さい！

会誌編集委員会では、現在、会員の皆様への更なるサービス向上を目指してスマートフォンなどへの会誌のプッシュ型配信サービスのトライアルを実施中です。

簡単に毎月1日に電子配信を受けられるとともに、最新の EPUB 版で構築された過去のバックナンバーやお気に入り本棚等のサービスも利用可能です。

●インストール方法：

会誌モバイルサイト、または二次元バーコードからお入り下さい。

<http://app.journal.ieice.org/>



●会員の場合は全ての記事を見ることができます。

●ログインするには、会員番号とパスワードを入力します。

なお、トライアル中は、バグ情報、アップデート情報、アンケート等をお送りすることがあります。お手数ですが、アクセスされましたら下記あて御連絡下さい。

※連絡先：会誌・出版課 kaishi_trial@ieice.org

御協力をお願い致します。

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後2か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>

